

決算事業報告書記載誤り発覚から1年

認定



ネット・社民の会
岩崎 みなこ

令和3年度決算不認定から1年

決算事業報告書に多くの誤りが見つかり、審査中に正しい報告書が出なかったことから昨年、不認定としました。この間、市からは、要因として手作業によるミスや組織力、人員

体制不足などが考えられるとの報告がありました。今後の決算審査に向け新たな事業報告書を

決算事業報告書は、多摩市自治基本条例のもと、市民にわかりや

すい資料をとの思いから、職員が形にしたそうです。しかし、デジタル化が進む今、タブレットやスマホからも見やすくする等改善が必要です。

今後10年間に及ぶ第六次多摩市総合計画も策定中です。

抜本的な見直しを考えるタイミングです。

決算事業報告書は決算審査に必要かつ重要な資料であることに鑑み今回のことを教訓にして、さらなる改善を改めて要望します。

地球温暖化と電気とマイクロプラ

認定



青空りっけん
しらた 満

市清掃工場での安価な再エネ電力導入も、市全体で1億7千万円増の燃料費調整額含む4億8,229万円の電気料金総額は高額すぎるため、CO2削減効果と検証が必要です。解決策なく進めた市庭球場マイクロプラ放出問題は、流出が止まらず1日でも早い汚染除去装置の完成を。

未来を見据え、インクルーシブな街へ

認定



多摩みらいの会
しのづか 元

気候変動、ダイバーシティ&インクルージョン、デジタル活用など新たな課題への対応を評価します。さらなる少子化・高齢化対策としての公共交通網の再編による市民が移動しやすい環境整備など、未来を見据えた取り組みを期待します。

決算を評価。一方、未来創造に不安

認定



志政会
藤原 マサノリ

財政の健全性を評価する一方、未来に向けた街づくりのグランドデザインが見えません。遅々として進まない病院建て替え問題。ホテルの閉館。多数の公共施設の更新。そして、がん検診率の向上など課題が山積。民間力で活力ある社会づくりを。

備えあれば憂いなし

認定



多摩の風
折戸 小夜子

異常気象により線状降水帯が多発して各地で水害が起きています。突然1時間に100ミリ以上の雨が降る事態を想定して、防災用として止水板の対策は急務です。日々の生活の中で備える自主防災用として補助金支給の検討を要望します。

行財政改革を着実に進めてほしい

認定



夢まち会議
岩永 ひさか

人口減、税収減の時代を見据えた事業の廃止や縮小を避けて通ることはできません。行財政改革の成果が「最小の経費で最大の効果」をあげる市民サービスの「質的向上」につながってきたかも問い直し、次年度につなげてほしいと思います。



市民が夢や希望を持てるまちづくりを

不認定



自民党
いいじま 文彦

将来への危機感を持って臨んでいたか

令和4年度、市税は約298億円と過去最高額でしたが、その後の物価高騰等により、引き続き市民への生活支援や市内企業の経済活動への支援が喫緊の課題でした。

現在の市民の生命・安全を第一に考えれば、学校や総合体育館などの空調の整備等も、昨今の猛暑対策として早々に取り組むべきでした。

まちづくりは様々な課題がある中、例えば、多摩センターでは「まちづかい」の社会実験を行う一方で、駅周辺施設の老朽化や、定期借地権の期限接近など、そもそも基盤となるハード面への危機感をもって臨んでいたのでしょうか。

令和4年度、多摩市の合計特殊出生率は26市で最下位、出生数は年間700人台まで落ち込んでいます。転入促進と共に、そもそも出生数を増やす少子化対策はできたのでしょうか。多摩市で妊活・出産しやすい、出産後も母子ともにケアできる環境を整備すべきです。日医大永山病院の問題も周産期救急の中核病院であり、心配されます。

今こそ全ての事業を見直すチャンス

コロナ禍は市民の意識や行動スタイルを変容させました。これまでの多摩市の良さは大切にしつつ、いまこそ、全ての事業を見直し、やめるものはやめる、変えた方が良いものは思いっきり変える時です。もっと攻めの姿勢で臨んでいただきたい。